

# 東松山市立市の川小学校

希少植物「サワトラノオ」の保護増殖活動を通じた環境教育の取り組み

## 貴重な絶滅危惧種を増やせ!

### 有志の研究班が発芽率を調査

埼玉県東松山市立市の川小学校では、6年生を中心に学校をあげて絶滅危惧種サワトラノオの保護・増殖活動に取り組んでいる。5年次の1月から栽培を始め、夏には開花・採種に成功したが、増殖の段階で問題が発生した。種を撒いてもほとんど発芽しないのだ。

そこで、有志の研究班「サワトラ隊」の発芽率調査が始まった。中心メンバーは夏休みに入っても学校に通い、気温ごとの発芽率の違いを調査。当初は0.38%だった発芽率が、17℃～26℃の環境下で27.99%まで高まることを突きとめた。このほか、まだよくわかっていない「風媒花」か「虫媒花」か、の考察も進めており、サワトラノオに関しては最も研究が進んだチームと言えるかもしれない。



サワトラ隊のメンバーと担当の岡島孝徳教諭



成長をイラストを交え記録



希少植物サワトラノオの花

### 心に広がる理科好きの芽

サワトラ隊以外にも6年生が水遣りを分担しているが、みなほとんど当番を忘れることがない。担当の岡島孝徳教諭も感心しつつ、「一人一人の負担を少なくしたのがよかったようです」と語る。サワトラ隊についても「様子を見ながら、『研究発表会に出てみる?』などと誘い水を向けてやる気を引き出しました」と自らの指導をふりかえる。

しかし、田中恵子校長は、「岡島教諭のやる気が児童を引っ張っているのです。おかげで理科好きの児童も増えました」という。

そもそものきっかけも、岡島教諭が県主催の研修会に参加してサワトラノオの苗を持ち帰ったことであり、サワトラ隊のメンバーも異口同音に「先生が苗を持ってきたことで興味を持ちました」と話す。岡島教諭が持ち帰った30株の苗は、児童の心に理科好きの心が芽生えるように、現在100株以上に増えている。  
(平成30年度個別助成)



#### ●実施担当

岡島孝徳 教諭

#### ●活動のモットー

6年生は行事などで忙しいので、無理な活動にしないよう心がけた。また、廊下に観察記録を貼り出すなど、成果を可視化してやる気を引き出している。



一人に一株、自分の株を大切に植え替え

#### 学校概要



目指す児童像は「こころ豊かでたくましく生きる子」。笑顔であいさつする児童たちが印象的な、活気ある学校。

設立: 1975年

生徒数: 554人

所在地: 埼玉県東松山市市ノ川30番地

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団

〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索